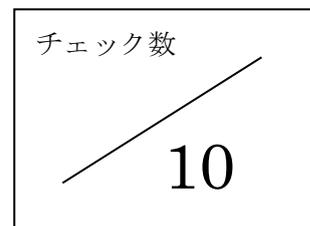


## ●チェックリスト

- 音響機器や空調室外機等の騒音を発生させる機器の防音対策、点検を行っている。
- カラオケ、楽器等の音響機器は壁から離して設置し、適正な音量である。
- 店の窓、出入口、換気扇、壁等から音がもれていない。
- 騒音防止に向けて、従業員に教育及び指導を行っている。
- 客の送り迎えは静かに行っている。
- 駐車場や道路でアイドリングストップを徹底している。
- 店の外での話し声や携帯電話で近隣へ迷惑をかけていない。
- 貼紙などで注意を呼びかけ、客に協力を求めている。
- 深夜に屋外で営業を行っていない。
- 早朝や深夜に荷さばきを行っていない。



## ●結果

チェック数

10 … 防音対策は良好です。防音の意識をより向上させていきましょう。

8～9 … あと一歩です。生活環境の保全に努めていきましょう。

7～4 … もう少しです。騒音を発生させている可能性があり、防音対策を見直す必要があります。

3～0 … **生活環境に影響を与えている可能性が高いです。防音の意識向上、防音対策が早急に必要です。**

上記の結果はあくまで目安であり、このチェック項目以外にも配慮すべき点は数多く存在します。例えば近隣住民と良好な関係を築くことはとても重要です。騒音は最も身近な公害で、苦情者は感情的になり話し合いが進まないこともあります。近隣住民と良好な関係があれば、スムーズな問題解決につながることが多いです。

**生活環境を保全のためには、お互いが防音意識を持ち、共存していく意識が大切です。**